

取組名称：医療系大学における学生参加型AI開発による学修者本位の教育の実現と普及

キーワード：#学生参加型 #内製 #医療

取組概要：医療系大学において**学生参加型でAIを開発**し、学修者本位の教育の実現と普及を目指します。かねてより、本学では**LMSを独自に開発（内製）**しています。これにより、LMSには膨大な学習ログが蓄積されることとなりました。そこで、新たに、学習ログのAI解析機能を拡充することで、**小・中規模の機動性の高いAIを内製**して、学部教育へ柔軟に対応しながら、全学的に**学生個人に最適化された教育を実現**します。特徴は、**医療系大学**である本学において、AIを学生参加型で開発し、**学生の発想を取り入れながら**、学修者本位の学修支援を図ることです。本取組により、学生が参加することで持続可能なAI開発体制を確立し、ポストコロナを見据えた継続的な大学全体の教育の高度化、ひいては、**医療のDX推進を目指**します。



<機関全体のDX推進計画>

1. 小・中規模の機動性の高いAIを学生参加型で内製して、全学的に学生個人に最適化された教育を実現します。
(例 **AI①**：AIがノートやレポートの文章チェックをして**文章表現力などを醸成**、**AI②**：学修記録から将来像を予測する**AI-eポートフォリオが学修計画の作成を支援**)
2. **誰もがいつでもどこでもAIを活用**できるように、情報ネットワーク基盤と講義室メディア機器を拡充し、**ラーニングコモンズを整備**します。
3. 医療系大学での学生参加型AI開発を目指して、**学生がAI開発に参加する授業科目を開講**し、学生の発想を取り入れながら、多種多様なAIを開発します。
4. 多種多様なAIがあることから、AIに振り回されることのないよう、全学的に、初年次に**データサイエンス教育を実施**し、AIを活用できるスキルの醸成を図ります。
5. 内製したAIのなかからオープンソース化が可能なモジュールについては、教育機関で活用できるよう公開し、本学DX推進計画の成果を**全国へ普及**させる方法の1つとします。

<DX推進計画のうち本事業で取り組む内容>

本事業で「**学生参加型AI開発を実現する環境と仕組み**」を構築し、それを受けて、本学DX推進計画で、小・中規模の機動性の高いAIを多種多面的に内製して教育の高度化を図ります。また、**小・中規模AIであっても効果を上げる教育モデルを構築**し、本学DX推進計画の成果を普及するとともに、医療のDX推進を目指します。

医療系大学である本学において
AIを学生参加型で開発

LMS

本学が
内製

膨大な
学習ログ

学生の発想を取り入れなら
学修者本位の学修支援を図る

LMSに蓄積された学習ログのAI解析機能を拡充することで、医療系大学で、小・中規模の機動性の高いAIを内製

取組の目標と取組を
とおして得られる成果

小・中規模AIであっても
効果を上げる
教育モデルを構築

オープンソース化が
可能なモジュールに
ついては
教育機関へ公開

本学DX推進計画の
成果を全国へ普及

医療分野における
DX推進を目指す

ポストコロナを見据えた継続的なDX推進

●推奨用語のワードクラウド

●レポートに使用することが推奨される単語をクラウド（雲）で表現します

早期体験学習・薬局訪問レポート

●使用単語の推奨

クラス全体のレポートではよく使われる単語を推奨します

一方で、あなたのレポート

ノートに
〇〇を追加
してみませんか

「患者」「保険」「クショッパ」「時間」「仕組」
(57%) (27%) (25%)

「グループ」「説明」「医療」「検査」
（ある場合）

「〇〇」に対して

「〇〇」に対して推奨する共起語

「変局」に対して推奨する共起語

予測モデルにおける寄与率と精度

表中の要素ID一覧

ID	1	2	3	4	5	6	7	8	9	12
要素	化学	数学	生物	数学	物理	自己評価	WebCBT 2017	WebCBT 2018	WebCBT 20	出席 20

45 50 55 60

〇〇の知識を
深めましょう

AIに振り回されることのないように、初年次にデータサイエンス教育を実施し、学生参加型AI開発へとつなげる

手段・方法

講義室メディア機器や
ラーニングコモンズの整備

データサイエンス教育(リテ
ラシーレベル)の実施

STEAM教育やPBLを導入し
て学修意欲を向上

学生がAI開発に参加する
授業の開講準備

機動性の高い小中規模AIを
多面的に内製